

丸全昭和運輸労働組合 第 69 回定期大会

丸全昭和運輸労働組合は平成 29 年 9 月 10 日（日）13 時より、ナビオス横浜（神奈川県横浜市 みなとみらい地区）において第 69 回中央定期大会を開催。代議員 56 名が出席し、執行部提案の全 6 議案を採択、今後一年間の運動方針を確立した。



尾池中央執行委員長

大会では、萩原中央書記長から「時間外労働上限規制」の請願書の取り組みについても説明もあり、「ドライバーを過労死から守り、全ての労働者に対し、等しく上限規制が適用されるべき。残された時間はわずかであり、秋の臨時国会で審議される予定の労基法改正案までに、運輸労連として 100 万人の署名が必要。今後の自分たちの身に大きく影響する事であれば、一人でも多くの方に署名をお願いしたい」との、力強い発言もあった。（最終結果：2170 名の方に署名の御協力を頂いた）



萩原中央書記長

また今後一年間の運動方針については、「賃上げ交渉」「一時金交渉」「付帯要求交渉」の取り組みについて具体的に説明し、代議員からの全員一致の承認を得た。

最後は、尾池中央執行委員長による「ガンバロー三唱」をおこない、第 69 回中央定期大会は終了した。（今期は改選期ではないため、役員改選は行わなかった。）

